

海外であなたの可能性を開花させよう！！

JAFS 海外プロジェクト実習プログラム 2014 年度海外ボランティア研修生募集



(過去の研修生の活動の様子)

◇2014 年度生募集◇

募集締切： 第一次 2014年8月20日（水）

第二次 2014年9月30日（火）

募集資格： 18才以上の成年男女 日常英会話 健康である事

帰国後、本会の会員として経験を活かす活動を行う意志がある事

選考方法： 書類審査・面接

実施団体： **公益社団法人アジア協会アジア友の会 (JAFS)**

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル5F

TEL : 06-6444-0587 FAX: 06-6444-0581

e-mail : asia@jafs.or.jp

JAFS 海外プロジェクト実習プログラム

JAFS 海外ボランティア研修生 募集概要

◆はじめに

2000年ボランティア国際年から日本においても様々なボランティア活動が活発になってきています。地球時代にふさわしいこの言葉は私達と世界の関わりを自覚させてくれます。国際協力・国際支援とは、現地に足を踏み入れ、実際に現地の人々と出会い、直面している問題を共に体験し考えていくことが第一歩です。そこで本会では、現地で様々な事を経験し、草の根の国際協力の意味と大切さを理解し、それを伝える事の出来るボランティアを育成するために、JAFS海外ボランティア研修制度を設けました。

◆JAFS海外ボランティア研修制度とは◆

アジア協会アジア友の会（JAFS）では、1979年よりアジア諸国との『理解・協力・連帯』を旗印に、市民レベルでの草の根交流ネットワークを広げています。その活動の一環として、海外経験を通しての幅広い人材育成を目的として「JAFS海外ボランティア研修制度」を2000年度より実施しています。

この14年間で29名の海外ボランティア研修生がアジア各地での様々な活動を通じ、いろいろな体験をしました。日本とは全く違う生活環境の中で、「生きるとは」、「人間とは」、「文化とは」、文明のもつ意味等を考えるよい機会となったことでしょう。派遣された研修生の多くが、「現地での経験を得て、価値観が変わった」と述べています。現地の生の生活に触れる事による自らの変化を語っていました。ある研修生は、「文化の異なる人との交流によって多くの人たちと一つの生活を分かち合う事が出来ました、多くの同年代の方々が私達の体験したアジアの生活に触れて下さる事が、人生の大きな実りに繋がります。」と帰国後感想を述べていました。

本研修制度は、NGOとしてのJAFSの活動に国内・海外共に参加することから始まります。そこから世界の中の日本のあり方を考え、自らの生き方（使命と課題）の実現に役立てて頂くことを目指しています。また、帰国後も本会の活動への参加から、広報の役目や今後の人材の開発・育成に協力していただきます。このように本研修制度は、日本における市民型NGO活動強化の役目を担う人材の育成を目指しています。

◆JAFS海外ボランティア研修生の役割◆

- ①国内外での実習を通し、本会の海外プロジェクトの実施の一助、及びその発展の為に活動を行います。
- ②帰国後も本会の活動に参加し、海外プロジェクト及び国内活動の発展の為に経験を活かします。
- ③上記より、市民型NGOとしての本会活動を理解し、共にそれを広める役割を担います。

◆研修方式◆

- | | |
|------|--|
| 第1段階 | 研修候補生として50時間の予備研修を受けます。 |
| 第2段階 | 予備研修終了後、再選考査により本研修生として本研修50時間の研修を受けることになります。 |

募集要項

I. 募集期間

2014年7月18日（金）～ 9月30日（火）

II. 研修予定国

1. インド（中部及び南部）
2. カンボジア
3. ネパール
4. フィリピン
5. バングラディシュ 等

III. 期間

- ・ 国内研修 予備研修50時間（2014年8月下旬～10月下旬）・本研修50時間
（予備研修終了後、面接・小論文により本研修受講者を選抜します）
- ・ 海外活動 2ヶ月～6ヶ月（2014年9月以降*但し、現地都合により変更になる場合もあります）

IV. 応募資格

- ・ 予備研修（50時間）受けていること
- ・ 18才以上
- ・ 男女性別は問わない
- ・ 健康であること
- ・ 日常英会話が可能であること
- ・ 本会の活動に参加する意志があること

V. 募集人数

5名

VI. 応募方法

募集要項についている応募用紙を郵送のこと。

VII. 選考方法

- 第1次 面接及び小論文（予備研修50時間終了後）
第2次 面接（本研修50時間終了後）

VIII. 応募締切

8月20日（水） 及び 9月30日（火） 当日消印有効

※締め切り後直ちに予備研修を行うことができます。研修実施日に関してはご相談ください。

IX. 費用について

- 本人負担： 国内研修中の移動費等
現地までの渡航費及び現地での交通費
渡航に必要なVISA取得料及び空港使用料
現地移動費
研修生登録費（26,000円※）（現地アレンジ及び通信費）

※本会会員は、20,000円

X. 応募先／お問い合わせ先

公益社団法人アジア協会アジア友の会 事務局 海外ボランティア研修制度係（担当：熱田）

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5F

TEL：06-6444-0587 FAX：06-6444-0581

ホームページ：http://www.jafs.or.jp E-mail：asia@jafs.ne.jp

◆ 過去の研修生レポートより ◆

Tさん(大学3回生で研修生に)

私が海外ボランティア研修生をしようと思ったわけは、「旅行やワークキャンプなどの短期間だけではわからない、村人の日常生活や考え方を自分の目で肌で実際に感じたい」という思いがあったからです。

……中略……

村での生活は初めての経験が多く驚きの連続で、水洗トイレが当たり前前の時代に育った私が水と手でおしりを洗うこと、ガスではなく火を起こして調理すること、外の湧水で体を洗うこと、電気のない生活時には水のない生活に自分の今までの生活を照らし合わせ、何と贅沢で幸せで無駄の多い生活をしてきたのかと考えさせられました。先進国の都会に暮らす私たちにはあまりに身近すぎて、気づくことの出来ない当たり前の幸せがどんなにすごいことであるか、どんなに大切なことであるか気がつきました。しかし、日常生活に戻りこの想いを忘れてしまうことが怖いです。この想いを忘れてはいけない、いつも胸に刻んでおかなければならない、誰かに伝えなければならぬそう思います。

Mさん(大学卒業後研修生に)

4か月はあっという間に過ぎてしまいましたが、この期間を通してボランティアに対する考え方が変わりました。それまでは清掃活動でも文具集めでもとりあえずやればいいことに繋がるから良いだろうと思っていましたが、行動するにはまず自分がきちんと理由を理解し、どういう結果になるか考えなければいけないと思うようになりました。